

National
Parks
of Japan



国立公園満喫プロジェクトの 取組状況と成果

1. 利用の行動計画等の策定

施策の取組と成果

- ・ **自然・生活・文化・歴史を把握し、ストーリーの明確化**に取り組む重要性を各公園に共有。**霧島錦江湾国立公園**にてストーリーの明確化に着手。
- ・ 改正公園法を踏まえ、3 国立公園・1 国定公園において、公園計画において、質の高い自然体験活動の促進に関する基本的な方針として、**自然体験活動計画**が定められた。
- ・ **エコツーリズム推進全体構想**を新たに3 地域で認定。
- ・ 利用者に提供する価値やストーリーとその提供方法等を定めた**インタープリテーション全体計画**の策定を各公園に促し、新たに2カ所で策定。
- ・ 地域住民がファンになり、誇りに思うよう、地域関係者と公園の魅力を共有するため、**インナーブランディング**の取組を実施。

活動指標	実績値 (2023.3)	昨年度 (2022.2)
ビジョン及び管理運営方針（保護と利用の方針）が記載された公園計画書数	0	—
自然体験活動計画が記載された公園計画書数	4	—
インタープリテーション全体計画の策定数	3	1
ステップアッププログラムが策定された公園数	12	—
管理運営行動計画が記載された管理運営計画数	0	—
インナーブランディングに取り組む公園数	2	2

最近の取組成果

● 公園計画への自然体験活動計画の追加

- ・ 質の高い自然体験活動に係る基本的な方針、地域ごとに促進する望ましい体験について、公園計画に定めた。
(中部山岳、大山隠岐、阿蘇くじゅうの3 国立公園 栗駒国定公園 の計4公園)



● エコツーリズム推進全体構想の策定・認定

- ・ エコツーリズム推進法に基づき、**新たに3 地域**でエコツーリズム推進全体構想が策定・認定された。
 - ・ 軽井沢町（上信越高原国立公園）
 - ・ 東近江市（鈴鹿、琵琶湖国定公園）
 - ・ 竹富町西表島（西表石垣国立公園）



● インナーブランディングの取組

- ・ 国立公園で暮らす人たちに、自分たちの暮らしと自然や文化との関わりについて聞き書きし、地域の方々の想いやエピソードをしてまとめた冊子である「自然の郷ものがたり」を3年続けて発行（阿寒摩周）



● インタープリテーション全体計画の策定

- ・ 利用者に提供する価値やストーリーを明らかにし、その提供方法等を定めた**インタープリテーション全体計画**が、令和4年度中に**新たに2箇所**で策定された（雲仙温泉地区、屋久島世界遺産センター）

2. 地域協議会の取組

施策の取組と成果

- 新たに、**三陸復興国立公園**において、国立公園満喫プロジェクト協議会を設置し、ステップアッププログラム2025の策定に向けた検討を開始。
- 国立公園等の現地管理体制について、202名の体制を確保。
- 公園管理団体の指定要件を緩和し、南アルプス国立公園において**民間企業を初めて公園管理団体**に指定。
- 多様な主体と連携し、公園づくりを推進。**(株)地域経済活性化支援機構と連携**し、「観光遺産産業化ファンド」により官・公・民の連携で地域観光資源を磨き上げるため、伊勢志摩国立公園において連携協定を締結。
- 民間事業者と連携して公園管理や魅力の発信を行うため、**オフィシャルパートナーシップを130社と締結**し、連携した取組を実施。

活動指標	実績値 (2023.3)	昨年度 (2022.2)
国立公園満喫プロジェクト地域協議会設置公園数	13	12
環境省現地職員数	202	202
公園管理団体数	7	6
国立公園オフィシャルパートナー数	130	112

● オフィシャルパートナー企業による取組の気運醸成・連携推進

- ・オフィシャルパートナー企業と国立公園の現地職員との意見交換会を実施（全3回）
- ・うち1回は新宿御苑インフォメーションセンター内 National Park Discovery Centerにて開催



● 国立公園オフィシャルパートナーシップの締結

- ・令和4年9月に6社と、令和5年3月に新たに6社と締結。**合計130社**に。



最近の取組成果

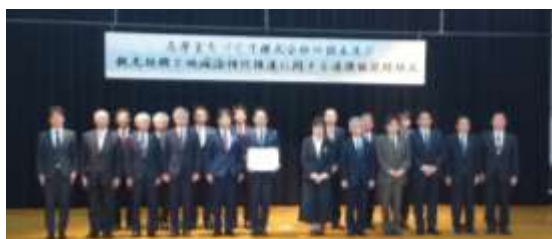
● 公園管理団体の指定【南アルプス】

- ・令和3年度の法改正等により公園管理団体の指定要件を緩和。南アルプス国立公園において、山小屋の運営などを行っている「特種東海フォレスト」を**民間企業初となる公園管理団体**に指定。



● (株)地域経済活性化支援機構との連携【阿寒摩周・伊勢志摩】

- ・「観光遺産産業化ファンド」により、民・官・公・金の連携で地域の観光資源として磨き上げる取組について、R5.3に伊勢志摩国立公園で**9社による連携協定を締結**。



- ・R3.3に環境省も加わり連携協定を締結した阿寒摩周国立公園では、ファンドからの投資を受けた株式会社弟子屈振興公社が改修した摩周湖レストハウスがR4.7にオープン。

3.利用者負担の仕組みづくり (利用のルール、限定体験含む)

施策の取組と成果

- 地方公共団体、地元事業者、保護団体等と連携し、国立公園における利用者負担の仕組みづくりを積極的に拡大。
- 入域料の収受だけでなく、ツアー料金への上乗せ、施設利用料の収受、飲食物等の売上げの一部還元等、多様な手法による取り組みを実施。ICTの活用を推進。
- 自然の保護・再生やサステナビリティ向上に貢献できるプログラムの造成を推進するため、コンテンツガイドラインを改訂・周知。
- 広域での利用者負担の仕組みづくりの検討を開始。

最近の取組成果

【大山隠岐】

・大山隠岐（大山）では山岳環境を維持するため、R4年6月より入山協力金を本格導入。

【磐梯朝日】

・雄国沼ニッコウキスゲ開花時期の雄子沢登山口における適正利用の仕組みづくりとして、R4年6～7月にシャトルバス運行・協力金徴収の実証試験を実施。

【吉野熊野】

・高付加価値化伴走支援事業で、関係者と吉野山で僧侶との特別な体験を実施。

【西表石垣】

・西表島エコツーリズム推進全体構想において、特定自然観光資源におけるガイド同伴と立入人数制限を導入。エコツーリズム推進法に基づく立入人数制限としては2例目。

活動指標	実績値 (2023.3)	昨年値 (2022.2)
入域料の仕組みの実施数	8	6
利用者負担の仕組みの件数（入域料以外）	26	21
コンテンツガイドラインの「環境への貢献・持続可能性」を満たすコンテンツ数	296	—

●国立公園における自然体験コンテンツガイドラインの改訂 (Ver.3.0)

・国立公園ならではの資源を活用した付加価値の高いコンテンツづくりを推進するとともに、環境への貢献・持続可能性の向上につながる項目を整理。



立入りの上限人数

特定自然観光資源	上限人数
ヒナイ川	200人/日
西田川	100人/日
古見岳	30人/日
浦内川源流域 (横断道)	50人/日
テドウ山	30人/日

4. 脱炭素化等の持続可能な地域づくり

施策の取組と成果

・ハード（利用拠点）及びソフト（自然体験）の両面で需要側における脱炭素化を推進
 ・2021年3月より、先行してカーボンニュートラルに取り組むエリアを「**ゼロカーボンパーク**」として位置づけ。国立公園における電気自動車等の活用、利用施設における再生可能エネルギーの活用、地産地消等の取組を進めることで、国立公園の脱炭素化を目指すとともに、脱プラスチックも含めてサステナブルな観光地づくりを実現

活動指標	実績値 (2023.3)	昨年度 (2022.2)
ゼロカーボンパークの登録数	11市町村	5市
ZEB国立公園事業による補助事業数	64 (H30～R4)	—
公共有料駐車場のEV/FCV利用台数（自然公園財団管理駐車場）	1,057台 (R3～R4)	—

最近の取組成果

ゼロカーボンパークの登録状況
 令和3年3月の開始以降、全国で10件、11市町村（令和5年2月末時点）

	地方自治体	国立公園	備考（登録エリア等）
第1号	松本市	中部山岳	乗鞍高原
第2号	志摩市	伊勢志摩	志摩市全域
第3号	那須塩原市	日光	塩原温泉・板室温泉地区
第4号	妙高市	妙高戸隠連山	妙高市
第4号	釧路市	阿寒摩周	阿寒湖温泉
第6号	千歳市	支笏洞爺	支笏湖
第7号	片品村	尾瀬	尾瀬かたしなエリア
第8号	釧路市、弟子屈町、美幌町、足寄町	阿寒摩周	全国初の連名登録
第9号	釧路市	釧路湿原	全国初の2国立公園登録
第10号	日光市	日光	奥日光地域



ゴミ拾いダイビング

【支笏洞爺】

・支笏湖ゼロカーボンパーク「支笏湖スタイル」構築の取組として、自然体験プログラムの作成、モニターツアー・ファミトリップ、情報発信などを実施。

【中部山岳】

・「NORIKURA KOGEN TRAILS」の伐採木を利用したベンチ（乗鞍高原）



5. 自然体験コンテンツの造成

施策の取組と成果

- 阿蘇市が、改正公園法に基づく、**自然体験活動促進計画策定のための協議会**を設立。
- 自然体験コンテンツの高付加価値化と国立公園のブランド化のため、**国立公園における自然体験コンテンツのガイドラインのブラッシュアップ**を行い、**4地域においてガイドラインに基づく高付加価値化のコンテンツ造成のために伴走支援を実施**。
- ビジターセンター等の拠点施設のスタッフやツアーガイド、コーディネーター等に向けた研修やアドバイザー派遣等による、外国人ニーズ等を踏まえた持続可能な受け入れ体制の仕組み構築を目的とした**人材育成支援**を継続して実施。

活動指標	実績値 (2023.3)	昨年度 (2022.2)
自然体験活動促進計画の認定数（協議会数）	0 (1)	—
人材育成事業研修参加地域数	97	83
コンテンツガイドラインを満たす自然体験コンテンツ数	588	—
ウェブサイト掲載コンテンツ数	531	—
ウェブサイト掲載モデルコース数	30	—

●自然体験コンテンツガイドラインに基づく高付加価値化伴走支援事業の実施（4地域）

最近の取組成果

●ロングトレイルの検討

【阿寒摩周・知床・釧路湿原】道東3公園を結ぶ世界水準のロングトレイルルートの形成に向けた調査や地域の機運醸成等を実施



【山陰海岸】専門家を交え山陰海岸ジオパークトレイルツアーの造成に向けた検討を開始



【妙高戸隠連山】戸隠・鏡池のスノーシューコースの設定に向けた調査を実施



【大山隠岐】地域関係者と蒜山にて茅の保管作業を体験するツアーを検討



【吉野熊野】地域関係者と吉野山で金峯山寺僧侶との特別な体験を実施。



観光庁との連携事業（サステナブルな観光コンテンツ強化事業等）

施策の取組と成果

- 観光庁における令和3年度補正予算「**サステナブルな観光コンテンツ強化事業**」等と連携して、地域の魅力を深く味わい、かつその持続可能性に来訪者も貢献できるような工夫を織り込んだコンテンツ造成や環境整備を支援。
- 国立・国定公園においても**ソフト事業で19件**（上限500万円と上限2,000万円）、**ハード事業で8件**の案件が採択され、環境省も協力する形で事業を実施。

サステナブルな観光コンテンツ強化事業 令和3年度 訪日外国人旅行客受入環境整備強化対策事業（約100億円）の内の 観光庁

○ 目下、世界的に「持続可能な観光（サステナブルツーリズム）」への関心が高まっているところ。
 ○ 各地域に引き継がれた**自然環境、文化・歴史、伝統産業等**を観光資源としてフル活用し、同時に、**経済・社会・環境の正の循環によりそれらの持続可能性や価値を更に高める仕組みを、観光サービス・地域づくりに実装する必要**。
 ○ 地域の魅力を深く味わい、かつその持続可能性に来訪者も貢献できるような工夫を織り込んだ**コンテンツ造成や環境整備**を支援。更に、現場から必要な知見を得て、**取組を加速する上での課題を整理。必要な方策や支援のあり方を検討**。
 ※ 国立・国定公園に係る内容については国立公園等を所管する環境省の協力を得て実施

事業概要

対象者 持続可能な観光の取組を実施する地方公共団体・DMO・民間事業者等

支援メニュー

○ **サステナブルな観光コンテンツ強化モデル事業（調査事業）**
 外部有識者のコーチングの下、優良なモデル事例を試行実証。得られたノウハウや課題など整理の上、必要な方策や支援のあり方など検討。
 ・地域の資源やその持続可能性を支える環境・社会環境等に深く触れる体験を、ガイド等活用し、本物の希少性の高い体験として提供。併せて、得られた観光収益を保全に回す、ふるさと納税を活用するなど、幅広い受益と負担の仕組みを構築。

○ **サステナブルツーリズム推進のための受入環境整備（補助事業）** 補助率 1/2
 下記の施設改修・整備、設備・物品購入を支援
 ・サステナブルな観光コンテンツの造成等に必要となるもの
 ・地域の観光資源を適切に維持・活用し環境負荷を低減させるもの 等

〔施設等の改修・整備に対する支援〕
 例：分館型・環境負荷を抑えたツアー実施のための施設整備、地域ルール案内看板の設置 等

〔設備・物品の購入に対する支援〕
 例：地域の魅力を深く体験するツアー造成や、利用者の動線誘導のための設備・物品

コンテンツの価値が観光振興に貢献する
 健全な観光による地域の持続可能性を高める

サステナブルな観光コンテンツの循環
 観光資源の持続的な保全と活用の自動化により、地域の経済・社会・環境の好循環を加速化させる仕組みにつながる事業を支援

取組事例イメージ
 高木木道を活用した利用分散と受入環境整備（知床）
 安全確保とヒグマの生息を兼ねた自然環境との共存、ガイド付き地上歩道ツアーと自由に行ける高木木道の利用分散、道の側、体験を促す



最近の取組事例



- 阿蘇くじゅう国立公園における事業実施例
- ・阿蘇の牧野で千年以上前から草原を活かし守ってきた「草原の守り人」たちの「サステナブルを地で行く暮らし」に触れ、匠の技や生き様を体験、阿蘇に「暮らすように滞在する」コンテンツを造成。
- ・旅行者は心身ともに蘇りの時間を過ごし、「草原の守り人」は新たな収入が生まれ、草原は持続可能となる「三方良し」の循環型観光モデルを構築していく。
- ・プロフェッショナル草原ガイド（グラスランドコンシェルジュ）の人材育成を行った上で、サステナブルな観光コンテンツ3本の造成・商品化と「設え」を整備。併せて、持続可能な受入れ体制づくりと、プロモーションを展開。
- ・なお、環境省は、本事業と連携し、草原の観光利用に関するガイドライン作成支援、プロモーション支援等を実施した。

6. 集団施設地区・温泉街等の利用拠点の魅力向上

施策の取組と成果

- **国立公園利用拠点の魅力向上検討会**を設置して、議論を開始
- 弟子屈町が、改正公園法に基づく、**利用拠点整備改善計画策定のための協議会**を設立。
- 地域で利用拠点計画を作成して将来像やビジョンを共有し、廃屋撤去や電線地中化、まちなみ改善等の景観整備事業を進める地区は、28地区に増加。

活動指標

	実績値 (2023.3)	昨年度 (2022.2)
利用拠点計画の策定数	28	—
利用拠点整備改善計画の認定数（協議会数）	0（2）	—
廃屋撤去した拠点数	19	—
電線地中化など景観を阻害する施設の改善を行った地区数	25	23
眺望確保・景観向上を目的に樹木の伐採等を行った地区数	50	37
上質なホテル・旅館の数※ ¹	145	—
利用環境の改善※ ² を行った山小屋数（補助事業者数）	6	—
ワーケーションのための環境整備を支援した事業者数	18	32

※1 2022年度より集計方法を変更 ※2 トイレの洋式化等

最近の取組成果

●利用拠点の上質化に向けた廃屋撤去

【十和田八幡平】

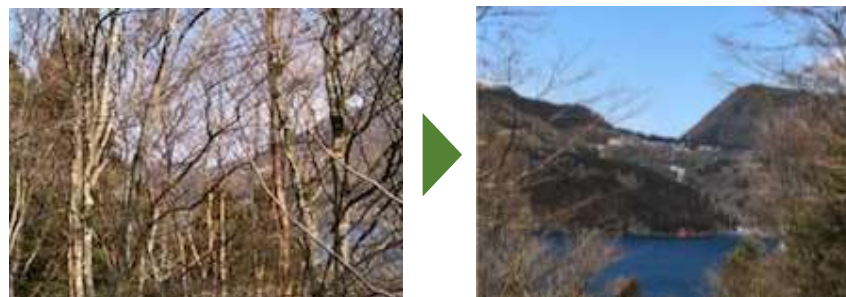


- 湖畔周辺に跡地空間が形成され始めた。
- 自治体や住民との継続的な意見交換に加え、民間企業へのサウンディングを実施し、跡地を含む地区一帯の利用方針を議論中。

- 休屋に降り立つ瞬間の第一印象となる駐車場から湖方向の見通し線も形成され始めた。
- 駐車場の再整備にあたっては同方向への動線配置も検討している。

●地域での景観改善の検討を踏まえ支障木を伐採

【富士箱根伊豆】



- 眺望の妨げとなっていた支障木を伐採し、畑引山の展望広場からの富士山や箱根神社鳥居、芦ノ湖の眺望を大幅に改善した。畑引山集団施設地区のあり方検討において、箱根町全住民を対象としたアンケートを実施したことや、満喫プロジェクト箱根地域協議会において眺望や景観の改善に係る合意形成が進んだことから、本取組の実現に至った。

6. 集団施設地区・温泉街等の利用拠点の魅力向上

最近の取組成果

- 廃屋撤去跡地にグランピング施設が開業。日本海を望む高台に快適で優雅なアウトドア滞在空間を提供。【大山隠岐】



・神話の舞台にもなった美しい自然を満喫できるグランピング施設がR5.3開業。上質化事業を活用し、休業後数十年経つ廃屋を昨年度撤去。地域の文化を活かした施設内装とし、地元産食材を提供。

・日御碕では、上記以外にも、廃業したホテルのリノベーションによりR4.11に新たなホテルが開業。また、地域の事業者が廃屋を撤去（R5.2撤去完了）し、新たに宿泊サービス等を提供する施設を整備予定するなど、地区全体で魅力向上が進む。



R3、R4に撤去した廃屋

【阿寒摩周】

・川湯温泉では、直轄の上質化事業にて撤去した2棟の廃屋撤去跡地について、宿舍事業者の公募を実施し、星野リゾートを事業者に選定。R5.2に環境省、弟子屈町、星野リゾートとの間で3者協定を締結。

- 廃旅館を一部解体のうえ、洗練されたカフェ兼ゲストハウスにリノベーション 【中部山岳】



・立山駅前にカフェ併設のゲストハウスがR4.10開業。上質化事業を活用し、廃旅館を洗練されたデザインにリノベーション。一階正面はガラス張りとし、山々が眺望できる。インバウンド対応も進め、店内には多言語やピクトグラムを使用。1階カフェの一角では、観光案内所が魅力発信とツアーやE-BIKEのレンタルを運営。駅前周辺景観整備など官民共同で取り組む。

- 観光拠点となる施設をリニューアル。ゆっくりと滞在し、時間とともに移り変わる景観を楽しむ 【阿寒摩周】



・REVIC連携協定の成果第1号として、上質化事業を活用し、摩周エリアの利用拠点施設である摩周湖レストハウスを改修し、新たな愛称「摩周湖カムイテラス」としてR4.7全面オープン。屋上テラスやガラス張りの室内休憩ラウンジからは、摩周湖の季節や時間で移り変わる景観をゆっくりと楽しむことができる。屋上テラスは夜間も開放。

6. 集団施設地区・温泉街等の利用拠点の魅力向上

最近の取組成果

●ワーケーションの推進

【雲仙天草】

・熊本県苓北町では、自然体験プログラムの造成と連携し、富岡城公園内の東角櫓、無線LAN環境整備やビジネス用品設置により、魅力的な景観を眺めるワーキングスペースを設置。（R3補正予算による補助金活用）



写真提供：苓北町 商工観光課

・国立公園等の国内向け利用促進Webサイトである「国立公園に、行ってみよう！」サイトにおいて、ワーケーションの受入環境整備を行った宿泊施設等を紹介。また、国立公園等の自然豊かな環境下で過ごすことにより期待できる健康効果や、国立公園でのワーケーションの魅力を発信。

【阿蘇くじゅう】

・熊本県では、新たにワーケーションに取り組む地域や関係者を対象とした「ワーケーションセミナー」の開催や、昨年度に策定した「阿蘇の草原学習およびワークショップ」等のワーケーションプログラムの磨き上げを、環境省等と連携して実施。
・首都圏企業をターゲットとしたセールスもに取り組む。



【富士箱根伊豆】

・富士河口湖町のホテル（宿舎事業者）が、展望室や一部の客室をワーケーション対応に改修。カヌー、地域の間伐材を使った箸づくりなどアクティビティも用意。



●二次交通の改善・充実

【大山隠岐】

・個人旅行を行う訪日外国人を対象とする、中国5県の観光施設の入場券等を盛り込んだスマートフォンアプリの観光バス「Discover Another Japan Pass」の販売を開始（R4.6～）。鉄道や高速バス、路線バス等の外国人向け交通商品や体験ツアー・プログラムの購入機能を備えている。



【伊勢志摩】

・市が横山VIEWタクシーを運行。駅と横山展望台間をワンコインで利用。
・観光協会がEVを利用して観光客が伊勢市内を自由に観光するツアーを開始。伊勢神宮内宮に一極集中する利用者を市内全体に広げることをねらう。



写真提供：伊勢市観光協会

7.魅力的な利用施設の整備・管理

施策の取組と成果

- ビジターセンター等利用拠点の再整備を実施。
- デジタル展示の導入や案内標識等の多言語化や等が進み、利用環境が向上した。
- ビジターセンターへのカフェ設置や民間事業者との体験コンテンツの連携が進み、民間開放による公園サービスの質的向上が図られた。
- 国立・国定公園内の利用拠点でのワーケーション受入を推進するため、民間事業者や自治体等によるワーケーション環境整備を支援した。
- あるべき管理水準に応じた登山道整備・管理に向けた検討を開始 (P)

最近の取組成果

【伊勢志摩】

・横山ビジターセンター展示をリニューアル。伊勢志摩の自然解説案内、ガイドツアー、ハイキング、海女小屋体験など、国立公園を訪れる人向けのアクティビティを紹介し、訪日外国人に分かりやすい展示解説が充実された。



【大山隠岐】

・隠岐地域（海士町）の利用拠点のひとつである明屋海岸の入口の駐車場に設置している総合案内看板。盤面内容の更新に併せて、多言語改修を行った。英文作成にあたっては、ネイティブのライターが現地を調査のうえ、訪日外国人にわかりやすい英文を心がけた。



活動指標

活動指標	実績値 (2023.3)	昨年値 (2022.2)
新たにカフェ、ツアーデスク、ショップ等の民間事業者を導入した直轄施設数	13	—
デジタル展示を導入した直轄整備事業数	2 (R4)	—
ネイティブライティングによる多言語整備に取り組んだ整備事業数	11 (R4)	37

【阿蘇くじゅう】

・南阿蘇ビジターセンターでは、R4.10よりキッチンカーによるカフェを試験的に出店。また、R4年度に地元民間事業者が園内を周遊する電動キックボード体験と早朝乗馬体験等のコンテンツを新規造成。いずれも、R5.4からの本格導入を目指す。



【磐梯朝日】

・磐梯吾妻・猪苗代地域における登山道のグレーディングを策定。また、利用体験ランク、保全対策ランクを基とした登山道の整備・維持管理方針（案）についての検討を実施している。



8. 情報発信・認知拡大

施策の取組と成果

- TripAdvisorにおいて、国立公園集約ページと、3公園のバーチャルGEOページを立ち上げ（22カ国語対応）。
- JNTOサイト内国立公園一括情報サイト、国内向け国立公園情報サイトにおいて、掲載コンテンツの拡充。
- 継続的なSNSによる発信とランディングページへの誘引。

最近の取組成果

● TripAdvisor

- 世界最大級の口コミ旅行サイトであるTripAdvisorにおいて国立公園集約ページと、3公園（知床・日光・中部山岳）のバーチャルGEOページを立ち上げ（22カ国語対応）。
- 国立公園の情報・評価・口コミが集約され、国立公園エリアでの評価が可能に。加えて各国立公園が「トラベラーズチョイスベスト・オブ・ザ・ベスト」や「国立公園ランキング」等の選考対象に。
- あわせて地域事業者への口コミ活用促進セミナー等を開催。



<口コミ数>	
日光国立公園	399 → 38,189
中部山岳国立公園	0 → 16,539
知床国立公園	120 → 2,976

活動指標	実績値 (2023.2末)	昨年値
公式Instagramのフォロワー数・エンゲージメント率（英・年間平均）	11.8万人 10.7%	11.6万人 9.5%
公式Facebookのフォロワー数・エンゲージメント率（英・年間平均）	22.7万人 6.6%	21.3万人 5.5%
公式Youtubeチャンネル登録者数	5,610人	5,150人
JNTO国立公園ウェブサイトPV数	11.9万	5.5万
環境省ウェブサイト（国立公園に行ってみよう！）PV数	97.5万	4.9万
スタンプラリーダウンロード数	11,318	4731
OTA経由のコンテンツ予約数	1,496	500

● JNTOサイト内国立公園一括情報サイト

以下のコンテンツを拡充・新設

- 高付加価値な自然体験コンテンツ
- 各公園のストーリーを軸にしたモデルコース
- 360°動画コンテンツ



● 国内向け「国立公園に、行ってみよう！」サイト

- アクティビティ等のコンテンツを拡充
- 「#わたしの国立公園キャンペーン」を展開、来訪者の物語をSNS上でシェア



8. 情報発信・認知拡大 (官民連携、各種情報発信、その他)

● 官民連携 (オフィシャルパートナーとの連携)

・オフィシャルパートナー企業による国立公園全体の認知向上・誘客促進、現地課題の解決等、地域と連携した取組。



株式会社ゴールドウイン

「National Parks of Japan」プロジェクト

- ・年度毎にエリアを定め (本年度は関東・中部) 連動した活動を実施
- ・アパレル商品展開 (売上の一部寄付予定)
- ・サイト上での取材記事紹介
- ・オリジナル旅行商品

三条印刷株式会社

「OZE BOARDWALK Project」

- ・尾瀬国立公園に敷設された木道を再利用した「尾瀬の木道ペーパー」を販売、売上の6%相当額を寄付
- ・加えて、歩荷・山小屋・シカといった地域の課題をYouTube動画で発信中

● 新宿御苑での情報発信

・新宿御苑にある「National Park Discovery Center」において二木あいさんや、GOLDWINとコラボした写真展を開催。令和5年度には国立公園フォトコンテストの受賞作品による写真展を開催予定。



● ツーリズムEXPO2022

- ・ツーリズムEXPO2022に日本の国立公園として出展。現地のレンジャー等が参加。



● JNTOとの連携強化

- ・JNTOと国立公園の情報発信等に関する勉強会を協働で開催。JNTO海外事務所職員を含む数十名が参加。
- ・その他、高付加価値コンテンツの造成に向けた現地での共同視察を実施。

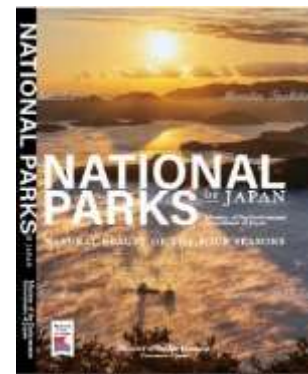
● 国立公園めぐり スタンプラリーアプリ

- ・現地に行った際にアプリから位置情報をキャッチすることでポイントを獲得。現地への誘客及び周遊を促進。
- ・ユーザー累計は2023.1月末時点で1万人を突破。



● 国立公園写真集 (英語版)

- ・G7広島サミット及びG7札幌気候・エネルギー・環境大臣会合に向けて、国立公園写真集を改訂

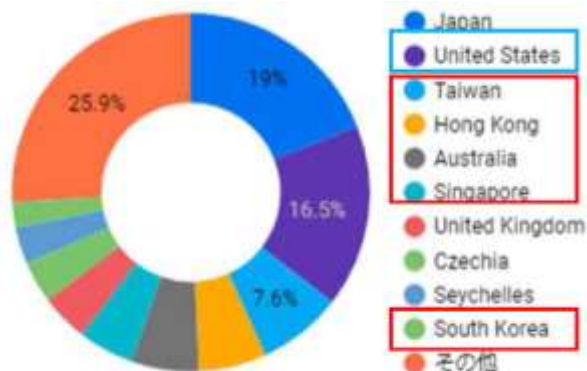


JNTOサイト内国立公園一括情報サイト 分析結果 (1)

言語サイト別



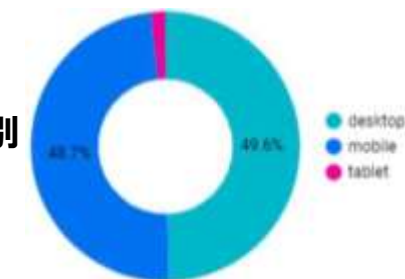
市場別



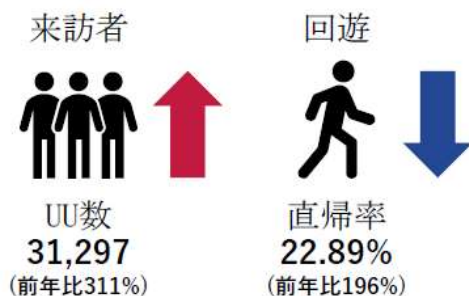
年齢別



デバイス別

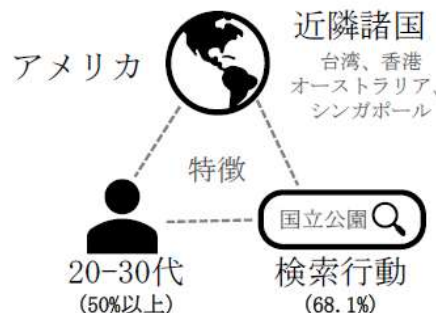


トラフィック分析



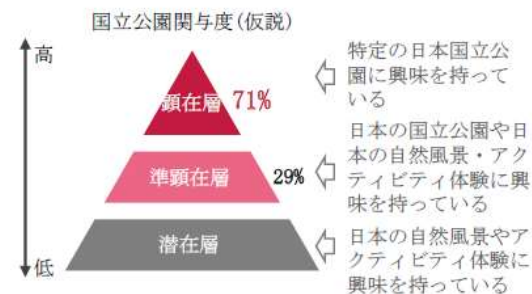
22年度は約3万のユーザーが来訪。だが、増加に伴い回遊指標が低下。

流入属性分析



アメリカと台湾、香港など近隣諸国の来訪が多い。20-30代中心のユーザーが国立公園を検索して来訪することが多い。

コンテンツ閲覧分析



特定の国立公園興味層が直接情報を求め、国立公園コンテンツを閲覧。

JNTOサイト内国立公園一括情報サイト 分析結果（2）

トラフィック分析

8月異常値



UU数
5,519
(前月比381%)

9月以降来訪増



月平均UU数
約3,500
(直帰率平均15.8%)

流入属性分析

近隣アジア



来訪者増加率
3倍以上
(4-8月と9-1月比較)

30-40代



来訪者増加率
約3倍
(4-8月と9-1月比較)

コンテンツ閲覧分析

「Plan Your Visit」

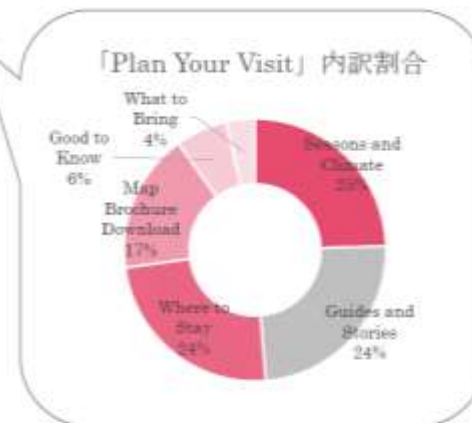


閲覧増加率
約2倍以上
(4-8月と9-1月比較)

8月は異常な急増だが、クローラーの可能性あり。9月以降は入国緩和の影響か来訪者が増加し、回遊も前年同等で落ちていない。

9月からアジアの近隣諸国の来訪が3倍以上。30-40代中心で増加し、家族連れなどファミリー層増加の可能性はある。

「Plan Your Visit」関連のページ閲覧が9月以降で2倍以上増加。旅先検討層が増加している可能性がある。



各国立公園ページ閲覧後は「Plan Your Visit」ページへの遷移が多く、中でも訪日旅行に具体的に役立つコンテンツを閲覧している。